

1F



コンピューターコーナー
日本ユニセフ協会やユニセフのホームページの情報を自由に調べられます。

ユニセフシアター

ユニセフの活動や歴史などの内容を大画面の映像で見ることができます。

ユニセフ年表

いつも子どもたちとともにあるユニセフの歴史をたどってみることができます。

企画展示コーナー

タイムリーなテーマを取り上げた写真展やポスター展などを随時開催しています。

世界地図

ユニセフが活動している場所がわかります。映像コーナーでは、色分けされた世界地図で各国の子どもたちの状況が見られます。



**ユニセフハウス展示スペース
ユニセフカード&ギフト**

開館曜日と時間
月曜日～金曜日
第2、第4土曜日(祝祭日を除く)
午前10:00～午後6:00

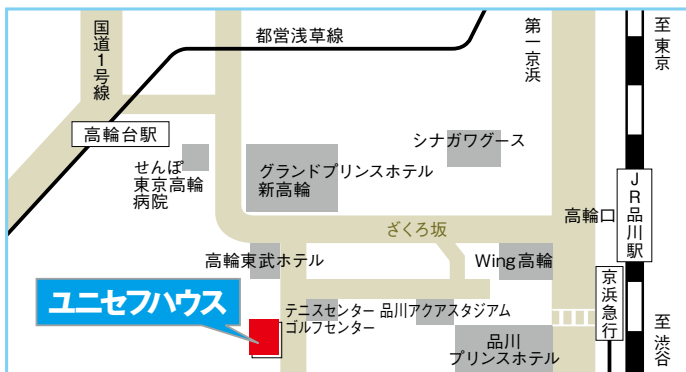


☆グループでの訪問や説明をご希望の方の事前予約について
ユニセフハウス展示スペースでは、ボランティア・スタッフがご来館の皆様へ展示の説明を行っています。説明をご希望の方は、事前にご予約をお願いいたします。訪問を希望される日が決まりましたら、2週間前までに下記までお問い合わせください。受け入れ可能な人数は、最大130名です。

- 学校関係の方 学校事業部 → TEL: 03-5789-2014 FAX: 03-5789-2034
- その他の団体等の方 団体・組織事業部 → TEL: 03-5789-2012 FAX: 03-5789-2032

☆ホームページで館内をご紹介します。
日本ユニセフ協会のホームページ内「ユニセフハウスへようこそ!」(http://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_hou.html)で館内の写真をご覧いただけます。

ユニセフハウスは、ユニセフ支援者の皆様や国際協力に携わる皆様への情報発信の場として、また、子どもたちの学習施設として、2001年7月にオープンしました。



JR・京浜急行 品川駅高輪口(西口)より徒歩およそ7分

公益財団法人 **日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)**
〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス ☎03-5789-2011

ホームページ: <http://www.unicef.or.jp>
Twitter(ツイッター)/Facebook(フェイスブック)もご覧ください。

@UNICEFinJapan | unicefinjapan

unicef



ユニセフハウス展示スペースは、世界の子どもたちの暮らしやユニセフの活動と出会える場所です。いつも世界の子どもたちとともにあるユニセフ。今、世界で何が必要とされているのか、一緒に考えてみませんか？



ユニセフハウスへようこそ!
展示スペースのご案内



公益財団法人 **日本ユニセフ協会**

開発途上国の保健センター

生きる権利

予防接種のワクチンを運ぶボックス。熱に弱いワクチンはこの中で低い温度に保たれます。



保健センターにはさまざまな薬などが備えてあります。

体重計や記録のための表。発育観察は子どもの栄養不良を発見する一番よい方法です。グラフの色でその子の栄養状態を判断できるなど、いろいろな工夫があります。



ビデオコーナー
01 A 元気な赤ちゃんを育てるために
B 子どもの病気を防ぐために

生まれた子どもたちがすくすく大きくなれるように

保健や衛生の知識を伝える各国の資料。「知ること」が命と健康を守る力を高めます。



開発途上国では、出産のときに多くのお母さんや赤ちゃんが命を失っています。ここでは、安全なお産のために必要なものは何か、見ることが出来ます。

女性への支援と乳幼児期のケア

子どもは栄養をとり、愛情をいっぱいに受けることで健康に育ちます。お母さんや家族がその知識を身につけ、家事の負担を減らして収入を得られるようにする活動が行われています。

安全な水の大切さ

水道のないところでは井戸が大活躍。安全な水が手に入れば、子どもの病気も防ぐことができます。

ネパールで使われている水がめ。水を入れると15kg。水くみがどんなに大変か持ち上げて体験してみましょう。

子どもの権利コーナー

ユニセフが活動の基盤としている「子どもの権利条約」の条文を紹介しています。



ユニセフの支援する教室

育つ権利

すべての子どもに教育を

世界の子どもたちはどんな教科書で勉強しているのでしょうか？ユニセフが支援してつくられているものもあります。



働かなければならない子どもたち

学校にも行けず、多くの子どもたちが過酷な労働を強いられています。バングラデシュでは子どもたちが工場でいろいろなものを作っています。



避難民キャンプ

守られる権利

戦争や災害が子どもたちを脅かす…

戦争や災害から命からがら逃れてくる人々を守るテント。中には栄養補助食品や生活用品などさまざまなユニセフの救援物資のサンプルが置いてあります。



戦争が終わってからも子どもを脅かしつづける地雷の模型が展示されています。ユニセフは、地雷から子どもたちを守る活動をしています。



戦争で心も傷ついた子どもたちのために、学校セットを届け、どこにいても教室が開けるようにしています。

ビデオコーナー
02 A 遊んで笑って元気な子！
～幼い子どものケア～
B お母さんパワーを育てよう

ビデオコーナー
04 A 紛争や災害に巻き込まれる子どもたち
B 子どもの兵士をなくそう

ビデオコーナー
03 A 学校に行きたい！
B すべての子どもに教育を

ビデオコーナー
05 A HIV/エイズとたたかう若者たち
B 自分たちの未来は自分たちの手で！

学校に行けない子どもたちのための活動。とびらを開けてのぞいてみてください。

世界の子どものたちの絵もあります。

子どもとともに社会を変える

子どものことを決めるときには、子どもの意見を聞いたり、子どもが参加したりすることが大切です。平和運動を起こした子どもや、JB（ジュニア・エイト）サミットのことを紹介しています。

世界で活躍する子どもたち

参加する権利



南アジアで大人気の「ミーナ」。女の子も学校に行こうと伝えています。